

会計名		文化協会育成事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	芸術文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。		主たる内容	様々な文化創造活動を行う市民が所属している刈谷文化協会の育成や刈谷をテーマとする文化事業「わたしの刈谷展」への支援を行う。				
	位置づけ	関連計画			刈谷市文化振興基本計画				
		根拠法令							
		対象者	刈谷文化協会		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>文化振興指導員等の臨時職員雇用</li> <li>協会創立35周年事業への補助</li> </ul> 【文化協会への加盟状況】 5部門 37部会 2,379人		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>文化振興指導員等の臨時職員雇用</li> </ul> 【文化協会への加盟状況】 5部門 37部会 2,379人		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>文化振興指導員等の臨時職員雇用</li> <li>刈谷城築城480年記念 芸能発表会への事業補助</li> </ul> 【文化協会への加盟状況】 5部門 35部会 2,256人		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>文化振興指導員等の臨時職員雇用</li> <li>西三文協美術展への事業補助</li> </ul>	
成果 (できたこと)		多くの市民が参加する市民文化祭など市民の創作活動の発表の機会となる様々な事業が開催され、市民の文化振興に寄与した。刈谷城築城480年・天誅組義挙150年を祝して開催した芸能発表会では事業の中核となり、会員外の市民にも参加を募り、市民ぐるみの記念事業として運営した。							
課題 (できなかったこと)		会員数が減少傾向であり、新規会員の獲得、特に若年層への訴求を高める必要がある。また、活動に関しても、市民に広く活動を知ってもらうため、広報に力を入れていく必要がある。							
指標名称 (単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		団体会員数 (人)		2,379	2,379	2,256	2,270	2,300	
指標									
他市との比較検証		安城市	文化協会会員数	H25	1,871人	／市人口	約18万人		
		知立市	文化協会会員数	H25	1,663人	／市人口	約7万人		
	刈谷市	文化協会会員数	H25	2,259人	／市人口	約14万5千人			
C 事業コスト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		5,968	5,672	6,564	6,338	合計	6,563,700 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	3,513,700 円	
		一般財源	5,968	5,672	6,564	6,338	報償費	200,000 円	
	職員人件費 ②		431	424	701	733	負担金、補助及び 交付金	2,850,000 円	
	総事業費 (①+②)		6,399	6,096	7,265	7,071			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			担当部	生涯学習部		
一般会計			担当課	文化振興課		
款	項	目	担当係	文化振興係		
10	5	1				
文化協会育成事業			各視点からの評価			
			評価の理由			
			必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	普通	市民が5部門35部会に所属し、多様な文化芸術の創造活動に寄与している。部門ごとに市民文化祭を開催しており、他団体との交流も行われ、レベルアップに寄与している。
			効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	文化振興指導員が事務局をとりまとめており、執行体制や経理などが効率的に行われている。
			妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	普通	文化活動団体を取りまとめる文化協会を窓口に、市民の発表の機会づくりとして支援することは妥当である。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	普通	築城480年記念事業では、歴史をテーマに芸能大会を主催するなかで、市民の発表する機会の提供や、天誅組に関する詩吟など、本市の施策への貢献がみられた。			
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
地域への働きかけや、会員の勧誘など、新規会員の獲得に向けた活動を促進させることが必要と考える。						

C  
H  
E  
D  
C  
K  
内部評価  
K  
ハ  
評価  
V

会計名			文化財保存整備事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	文化振興課			
款	項	目					担当係	文化財係			
10	5	2									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図り、市内外へ向けて広報することで、文化財に対する興味関心を高める。			主たる内容	○史跡の維持管理及び剪定等の管理委託 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」他のパンフレット等の改訂・印刷					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	文化財保護法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～					
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（福山市・姫路市）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（松江市・出雲市）</li> <li>歴史資料の購入</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施</li> <li>椎の木屋敷跡門の修繕</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（仙台市・東京都北区）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（津市・和歌山市の予定）</li> <li>古文書等の購入</li> <li>歴史啓発ポスターの作成</li> </ul>			
成果 (できたこと)		9コースに分かれていた歴史の小径を1冊に統合し、市民の利便性の向上に寄与した。ホームページにおける史跡紹介のページを拡充し、史跡PRの向上に寄与した。									
課題 (できなかったこと)		啓発の度合いを強めるとマップ等がすぐになくなってしまっているので、在庫管理を徹底すると共に、紙質を替えるなど工夫する必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
活動指標		史跡めぐりの開催（回）			3	3	4	3	3		
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	37.8	—	41.0	42.0		
他市との比較検証		安城市「あおぞら歴史教室」（平成25年 3回）									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳			
	事業費 ①		3,977	4,041	6,745	6,933	合計 6,745,412 円				
	財源	特定財源	3	7	7	17	旅費 122,100 円				
		一般財源	3,974	4,034	6,738	6,916	需用費 2,553,470 円				
	職員人件費 ②		718	467	1,613	953	役務費 23,575 円				
	総事業費 (①+②)		4,695	4,508	8,358	7,886	委託料 3,018,330 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称					
25年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料							
27年度以降の事業費見込		0									
								補償、補填及び賠償金 113,923 円			

会計名			文化財保存整備事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財を保護保存し後世へ伝えていくこの事業は、文化財保護法に規定されている法的業務である。文化財の保存には市民への啓発が必要不可欠であり、適切な管理および保存方法を知ってもらうことが重要。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	史跡は公園的な植栽がなされているため、専門の造園業者へ委託し、適切に管理されている。各種パンフレットは、印刷製本費のコスト削減を目指しホームページ上から閲覧・印刷できるようにした。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	文化財の適切な保護保存には、専門的な知識を持つ学芸員や市特別職である文化財保護審議会委員などの経験や知識が必要になる。文化財の散逸や劣化を防ぐための事業は、一括管理できる市が主体となっていくのが最も望ましく妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	文化財の保護保存・管理は文化財保護法に基づいたものであるため、貢献度や目標達成度という評価にはあまりそぐわないが、他事業とも関連させて更なる市民サービスの向上を目指していく。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
「歴史の小径」等のパンフレットについては、適正な利用方法や規格について精査することが必要であるが、刈谷の歴史や偉人を分かりやすく紹介する歴史啓発ツールとして、今後も役立てていく。また、歴史の小径の活用方法として史跡めぐりを実施することやガイドボランティアとの協力・連携を活発化させることで、今以上に文化財の啓発と周知を図っていく。					

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。	主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のために池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を委託する。 ○カキツバタ開花期における、駐車場案内等の警備や案内の業務を委託する。					
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 9日間 ・ナラ枯れ被害木処理 被害木 11本 ・国指定天然記念物小堤西池カキツバタ群落調査報告書ⅩⅢ作成		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木処理 被害木 19本 ・既存看板修復 3件 ・新規看板設置 1件		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木処理 被害木 22本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木処理 被害木 26本 ・国指定天然記念物小堤西池カキツバタ群落調査報告書ⅩⅣ作成	
成果 (できたこと)		・9月の除草作業は、ボランティアの参加を得て池内除草及び東側丘陵地の竹木伐採を行った。 ・伐採竹木約7トンの焼却処理を行った。 ・カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきたと来場者より評価を得た。 ・ナラ枯れについて、文化庁及び保存対策調査委員会より意見を頂き、今後の対策の方向性を見出した。							
課題 (できなかったこと)		池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が増殖しており、その速さが伐採処理を上回っているため、地下水の確保、水源の管理が課題となっている。 池及び東側丘陵地において外来種（動物・植物両方）が増加している。保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		見学者数（人）		6,991	7,577	7,390	7,600	7,800	
活動指標		ボランティア参加数（人）		200	194	149	200	200	
他市との比較検証		知立市「史跡八橋かきつばたまつり」見学者（平成25年 15万人程度） 保存会ボランティア参加数（平成25年 30人） 豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（平成24年 延べ500人）							
C 事業コスト		単位：千円	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①	5,666	7,554	6,006	6,963	合計	6,005,772 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	90,000 円	
		一般財源	5,666	7,554	6,006	6,963	旅費	3,320 円	
	職員人件費 ②	1,579	1,507	1,964	2,052	需用費	95,006 円		
	総事業費 (①+②)	7,245	9,061	7,970	9,015	委託料	5,817,446 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。また、毎年5月の開花時期には多くの鑑賞者が訪れることから市民ニーズも高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	地元有志による守る会に委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも手段は最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画においても、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	「小堤西池のカキツバタを守る会」等の市民が保護活動に主体的に関わっており、環境保護の意識向上に繋がっている。その成果として、カキツバタの花の数も増加傾向にあり、見学者に喜んでいただいている。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護施策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。また、より多くの人に国指定天然記念物を見学していただくとともに、環境保護活動の意識向上が図れるよう、豊富な自然環境が維持されていることの啓発を今後も推進する。また、「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」に基づき、取り決めた各関係機関における体制・役割分担を守り、連携を強化していくことで、群落の保護保全に努めるとともに東側丘陵地の回復を図る。				

会計名		依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。	主たる内容	依佐美送信所記念館における機器説明等、館内ガイド業務を実施する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成20年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・依佐美送信所記念館パンフレット増刷 ・ガイドボランティア委託 ・入館者数 21,945人 ・ボランティアガイド 101件 2,429人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 27,798人 ・ボランティアガイド 126件 3,062人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 30,849人 ・ボランティアガイド 130件 3,300人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 約30,000人 ・ボランティアガイド約130件 約3,300人	
成果 (できたこと)		毎週土日と祝日にガイドを実施し、「郷土の歴史を勉強できた」「世界に誇る施設が刈谷にあったことを知ることができた」との声をいただいている。高校や企業からのガイド依頼も多く、教育や研修活動に利用されている。							
課題 (できなかったこと)		他市町村からのガイド依頼は一定数あるが、市内の方（特に北部・中部の方）を対象としたガイド数を増やしていく。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		ボランティア数（人）		44	45	46	46	48	
成果指標		ガイド参加数（人）		2,429	3,062	3,300	3,300	3,400	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していない。							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		239	100	464	170	合計	464,350 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	138,600 円	
		一般財源	239	100	464	170	委託料	325,750 円	
	職員人件費 ②		1,436	707	351	366			
	総事業費 (①+②)		1,675	807	815	536			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
		25年度迄の累積事業費		0					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深める。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営を行う。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	ガイドボランティアを組織し、委託とすることで、最小コストによるガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、業者委託や直営よりも効率的な運営が行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	依佐美送信所記念館の施設管理については指定管理者によって行われているが、ガイド事業については専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託するという現状の体制は有効である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。また、昨年度はガイドボランティアの会も国の「エイジレス・ライフ実践者」を受章しており、刈谷の知名度向上、市民の歴史文化への興味関心の喚起に繋がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
ボランティアは増加傾向にあるが、産業遺産に社会の注目が集っている現状から、より来館者を増やす取組を行っていく必要がある。					

会計名			刈谷偉人伝作成事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	刈谷市にゆかりのある人物を広く市内外に紹介し、顕彰する。計画中である歴史博物館での活用や、小中学生の歴史教材としてなど、様々な分野で刈谷市の歴史文化や魅力をPRすることができる啓発促進手段の一つとする。			主たる内容	年次計画に沿って、刈谷の偉人について紹介する物語を年度ごとに1作品映像化し、頒布する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度 ~ 平成26年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・第3作目『フェライトの父 加藤与五郎』作成 ・第2作目『初代刈谷藩主水野勝成物語』の頒布開始		・第4作目『森銃三と森三郎兄弟』作成 ・第3作目『フェライトの父 加藤与五郎』の頒布開始 ・第1作目『維新の魁天誅組』の増版		・第5作目『刈谷に夢をかけた 豊田佐吉と喜一郎』作成 ・第4作目『森銃三と森三郎兄弟』の頒布開始 ・第2作目『初代刈谷藩主水野勝成物語』の増版		・第6作目『於大』（仮称）作成 ・第5作目『刈谷に夢をかけた 豊田佐吉と喜一郎』の頒布開始 ・第3作目『フェライトの父 加藤与五郎』の増版	
成果 (できたこと)		市内小中学校等に寄贈し、授業で活用された。 総合式典や出前講座、480年記念事業等で広く紹介するとともに庁舎や総合文化センターなど集客のある施設やYouTubeでダイジェスト版を放映し、また、チラシを市内施設に置き市民等が目にする機会を多くするなどPRする機会を増やしたことで興味関心を持った人が増え、ホームページからの問い合わせや頒布数が増加した。							
課題 (できなかったこと)		シナリオ作成の段階で関係者に確認・了承を得ようとしているが、歴史観が異なったり史実の確認など調整事項に手間取り、工程が予定通りいかないことがあった。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		頒布部数(部)		137	188	219	200	200	
成果指標		刈谷のPRのため、DVDを会議等の場での活用・広報回数(回)		11	20	25	25	10	
他市との比較検証		郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法・レベル・作成費用等を検証し、参考とした。 検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』							
C 事業コスト V		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		5,985	6,704	6,544	6,658	合計	6,543,600 円	
	財源	特定財源	263	94	219	300	委託料	6,543,600 円	
		一般財源	5,722	6,610	6,325	6,358			
	職員人件費 ②		1,795	1,768	2,104	2,565			
	総事業費(①+②)		7,780	8,472	8,648	9,223			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷偉人伝作成事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	<p>「歴史の小径」などの配布数を見ても、郷土の歴史に対する関心は高く、郷土の偉人を顕彰する事業はニーズがある。小中学校に配布し教育的利用を促すことで、郷土学習にも役立っている。</p> <p>24年度に再度プロポーザル形式のコンペを実施して契約の見直しを行い、質の向上を図った。コンペ後、事業遂行の効率化を目指し、24年度作品の映像化と25年度作品のシナリオ作成を同時実施したことで、関係者との連絡調整に十分時間をかけることができた。</p>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	<p>教育委員会で著作権を持ち、小中学校に積極的な活用を促すことで、教育的効果が期待できる。</p> <p>「郷土の歴史に対する認知度」の向上のため、図書館におけるDVDの公開・貸出や市の行事等で事業計画と関連性をもって利用することで、普及を図ることができる。</p>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	<p>25年度は、市の総合式典や刈谷城築城480年記念事業関連の各種イベント等において上映し、多くの市民の目に触れる機会を創出した。郷土の偉人を通して歴史文化を啓発することで、郷土愛の育成を図ることができた。</p>
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷偉人伝第6作『於大』（仮称）の制作に取り掛かる。 第6作完成後は、全巻そろいでの販売を行い、郷土の歴史・文化の啓発促進を図るほか、平成30年度開館予定の歴史博物館のデジタルミュージアムでの活用など、博物館設計との連携を持たせていく。 歴史博物館での放映用に「刈谷偉人小伝」（6作品）を作成する。 刈谷偉人伝DVDの映像内容を紙芝居で作成し、市内幼稚園・保育園、小学校等に配布し、幼少期からの郷土愛の醸成を図る。					

会計名			刈谷城築城480年記念事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	刈谷城址の整備						
	目的	刈谷城築城480年及び天誅組義挙150年を契機として市民の歴史に対する関心を深めるとともに、文化都市「刈谷」を広く啓発する。			主たる内容	刈谷城築城480年記念事業として各種イベントを実施し、郷土の歴史文化を市内外に広く発信する。 ○記念イベント数 28事業 ○上記イベントへの参加者総数 277,041人 ○記念誌の作成 ○啓発、広報の実施			
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画 根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成24年度 ~ 平成25年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		_____		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷城CGの作成</li> <li>啓発物品の制作 (記念ピンバッジ・缶バッジ)</li> <li>広報物の制作 (のぼり、卓上のぼり、ポスター、チラシ)</li> <li>マスコットキャラクターの制作</li> <li>特設ホームページの設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントの開催 刈谷城築城480年記念展 12,502人</li> <li>PRランニングランナー26人</li> <li>チビッコ甲冑行列 6,000人</li> <li>天誅組シンポジウム 184人</li> <li>刈谷城築城480年記念会 341人</li> </ul>		_____	
		成果 (できたこと)	刈谷城築城480年記念展をはじめ老若男女を対象にして幅広い事業を実施したことで、市内外多くの人に歴史を体感してもらい、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める」に応えるとともに、刈谷城や天誅組といった郷土の歴史理解を高めることができた。 マスコットキャラクターや盛上げ隊を通して、子ども達や興味関心の低かった人にも目を向けてもらうことができた。						
課題 (できなかったこと)		各種イベントが一過性のものとならないよう、次年度以降も継続性をもって新たな事業を実施し、歴史文化を啓発していく必要がある。 刈谷城築城480年記念事業を刈谷城址の整備に繋げ機運を高めていく方向であるが、整備が終了した後のまちづくりを見通した事業展開が必要である。							
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果指標		実行委員会事業への参加者数 (人)			—	—	277,041	—	—
活動指標		PRブース等による啓発活動の回数 (回)			—	1	10	—	—
他市との比較検証		本市のように築城と郷土の歴史や文化の啓発を目的とした周年事業を実施している市町村 織田信長公小牧山城築城450年 (愛知県小牧市 平成24年度~25年度で実施) 佐倉・城下町400年記念事業 (千葉県佐倉市 平成22年度~29年度で実施)							
C 事業コスト		単位：千円	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①	0	11,972	37,293	0	合計	37,293,322 円		
	財源	特定財源	0	0	2,102	0	賃金	1,059,395 円	
		一般財源	0	11,972	35,191	0	報償費	50,000 円	
	職員人件費 ②	0	5,022	11,572	0	旅費	517,980 円		
	総事業費 (①+②)	0	16,994	48,865	0	需用費	1,695,225 円		
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)	0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		文化財保護事業費寄附金 冊子等頒布収入					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷城築城480年記念事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史に誇りをもってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 昨今は県内他自治体においても歴史文化を啓発する事業やイベントが盛んであり、社会需要は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	事業の大部分に関して、実行委員会に委託することで効率化を図った。 啓発物品の配布については、配布先・配布事業・配布場所を精査し、実施した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	事業を通じて、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める必要」に応えることができる。 市が携わって実施することで、市民と協働する形で事業を推進することができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	歴史文化イベントを集中的に開催することで、市民が気軽に文化に親しむことのできる街であるとアピールすることができ、施策への貢献度は高い。 郷土の歴史を学びたいとする市民の知的要求に応えることができ、成果を挙げた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
事業については平成25年度末をもって完了した。 以降の歴史文化の啓発については、記念事業の継続や既存事業の拡充・特設ホームページ等の維持・更新で実施していく。					

会計名		小堤西池周辺整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の隣接地を取得し、指定地と一体的な保護保全を図る。	主たる内容	小堤西池南側の土地5筆を取得する。					
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画書						
		根拠法令							
	対象者	土地所有者 (3名)	事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		—		—		・用地取得に向けた地権者との交渉		・用地取得	
成果 (できたこと)		用地取得に向けた地権者との交渉。							
課題 (できなかったこと)		買収に向けての合意形成ができなかった。							
指標名称 (単位)				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		取得筆数 (筆)			—	—	0	5	—
指標									
他市との 比較検証		用地買収はどこの自治体でも行われているが、その事案毎に背景が異なるため、一概に比較検討することは難しい。							
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	6,738	合計 0円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	6,738			
	職員人件費 ②		0	0	351	733			
	総事業費 (①+②)		0	0	351	7,471			
	建設 事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			小堤西池周辺整備事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。平成25年度の開花時期も7,000人以上の見学者が現地を訪れており、本事業の推進にともなう景観保護の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	農業用倉庫の建築など該当地を開発された後に買収した場合には現状回復コストが発生する可能性が高くなることから、現時点での買収が最もコスト節減となる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	本事業はカキツバタ群落の指定区域と民地の緩衝地帯として買収するものであり、市が主体となって実施すべき内容である。また総合計画の「2-6歴史文化財」の現状と課題においても、周辺の自然的景観の保全を掲げており、総合計画と本事業との整合性が図られている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	本事業はカキツバタ群落の保護と景観保全に繋がる内容であり、施策への貢献度が高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
用地買収後は民地との緩衝地帯として指定区域と一体的な保護保全を図る。					

会計名		文化振興事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
10	5					13			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民の芸術文化意識の向上を図る。		主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターにおいて、各種の文化普及・鑑賞事業を開催する。 また、市民の芸術文化活動を支援することで発表の場としての機能を提供する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成23年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		15事業(有料14事業・無料1事業)を実施、入場者延16,680人		22事業(有料17事業・無料5事業)を実施、入場者延18,498人		28事業(有料20事業・無料8事業)を実施、入場者延25,695人		28事業(有料21事業・無料7事業)を実施予定	
・大ホール利用 502回 131,434人 ・小ホール利用 393回 35,044人 ・リハーサル室1利用 292回 11,599人 ・リハーサル室2利用 512回 12,165人		・大ホール利用 545回 177,076人 ・小ホール利用 490回 56,087人 ・リハーサル室1利用 289回 14,214人 ・リハーサル室2利用 518回 12,174人		・大ホール利用 565回 198,389人 ・小ホール利用 436回 47,624人 ・リハーサル室1利用 279回 10,864人 ・リハーサル室2利用 548回 10,580人					
成果 (できたこと)		大ホールでの自主事業として、「屋根の上のヴァイオリン弾き」(4月6日、7日)、「HOME MADE家族 10th Anniversary Family Jam 2013 ～スペシャル・コラボレーション・ツアー～」(12月21日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与できた。 市民スタッフによる企画公演は市民出演者と協働することができ、観客のアンケートからも高い評価を得た。							
課題 (できなかったこと)		大ホール事業はクラシック、古典芸能の分野で関連イベントを実施し集客に努めたが、数字に結びつかなかったことから、より市民のニーズを汲み取った内容で実施することが必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		文化振興事業入場者数(人)		16,680	18,498	25,695	27,550	25,000	
成果指標		大ホール稼働率(%)		61.3	70.0	73.3	70.0	70.0	
他市との比較検証		文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、文化事業数 一宮市：一宮市民会館 22事業 広島県三原市：三原市芸術文化センター 22事業							
C 事業コスト	単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳		
	事業費①		25,740	24,879	25,680	27,165	合計	25,680,000円	
	財源	特定財源	0	0	188	0	委託料	25,680,000円	
		一般財源	25,740	24,879	25,492	27,165			
	職員人件費②		7,537	7,428	9,468	7,914			
	総事業費(①+②)		33,277	32,307	35,148	35,079			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		地域創造助成金					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	指定管理者による運営を行うことで、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。可能な限り、プロモーターを通すことなく、実施することで、同じ質のものをより費用を抑えた形で実施している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	芸術文化創造の拠点となることで、「誇りと愛着のもてるまちづくり」施策を実現している。普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	著名なアーティストや、良質な公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図った。また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業については、ホール及びシティセールスとしての著名な公演の誘致と、市民や地域の芸術文化の振興に寄与する公演をさらにバランスよく編成すると共に、集客を図るべく広報を展開する必要がある。					

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	刈谷市の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備を進めていく。	主たる内容	○市史だよりの発行。 ○市内外における資料の発掘・調査を行い、刈谷に関する関係資料を収集し、資料目録を作成する。 ○資料のマイクロ化を行う。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令		文化財保護法、公文書館法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成7年度 ~					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		・資料調査の実施 9回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理 ・市史だよりの発行		・資料調査の実施 11回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理 ・市史だよりの発行		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理 ・市史だよりの発行		
成果 (できたこと)		・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理することができた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発することができた。 ・新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。								
課題 (できなかったこと)		・資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分でなかった。								
指標名称 (単位)			実績値			目標値				
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
活動 指標		調査回数 (回)		9	11	5	5	5		
活動 指標		調査・整理資料点数 (点)		683	300	300	500	500		
他市との 比較検証		・名古屋市では、資料の整理は終了し、市史資料編を刊行している。 ・安城市では、市史の刊行は完結しており、随時調査を実施している。								
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		4,921	4,879	5,448	6,014	合計	5,447,633 円		
	財 源	特定財源	327	39	263	228	賃金	1,683,500 円		
		一般財源	4,594	4,840	5,185	5,786	旅費	4,980 円		
	職員人件費 ②		1,507	1,415	1,052	1,466	需用費	3,406,145 円		
	総事業費 (①+②)		6,428	6,294	6,500	7,480	役務費	57,339 円		
建設 事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称					
	25年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入					
	27年度以降の事業費見込		0							
						委託料	147,000 円			
						使用料及び賃借料	142,069 円			
						負担金、補助及び 交付金	6,600 円			

会計名			音楽振興活動補助事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	文化・芸術			
		施策の内容	活動の支援体制の充実			
	目的	刈谷市文化振興基本計画では、「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展を図る。	主たる内容	音楽協会の行う演奏会、演奏指導（クリニック）などへ開催の支援を行う。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
		根拠法令				
		対象者	刈谷音楽協会	事業期間	平成18年度～	
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他			

B事業実績 D実績 O 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
	・6月12日 第7回刈谷音楽祭「煌くピアノの饗宴」 ・12月11日 第6回刈谷音楽協会演奏会「わくわくクリスマスコンサート」		・6月24日 第8回刈谷音楽祭刈谷市民管弦楽団 第27回定期演奏会 ・12月 第7回刈谷音楽協会演奏会「わくわくクリスマスコンサート」		・7月7日 第9回刈谷音楽祭～日本のメロディ～ ・10月27日 第6回刈谷音楽協会の日		・6月22日 第10回刈谷音楽祭 ・8月 刈谷国際音楽コンクール	
	成果 (できたこと)	公演では安定した入場者数を集めており、「音楽」のあるまち刈谷が浸透してきていると考える。補助金により安定した運営ができるようになり、音楽祭・演奏会という2本の柱を軸に、総合文化センターアトリウムコンサート、市役所フロアコンサートなど活動の場も広げることができた。						
	課題 (できなかったこと)	演奏会の開催により計画への貢献は認められるが、会員増などの組織のさらなる基盤の強化が図れなかった。						
	指標名称（単位）			実績値			目標値	
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度
	活動指標	協会会員数（人）		64	67	70	74	75
	成果指標	刈谷音楽祭入場者数（人）		—	824	695	700	700
他市との比較検証	現在、近隣市において、演奏者の協会があるのは岡崎市・安城市のみである。岡崎市の団体は文化協会に所属しており、市から文化協会への活動の支援をしている。安城市では活動に対する補助はしていない。							

C事業コスト	単位：千円	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①	263	800	703	800	合計	703,423 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金	703,423 円
		一般財源	263	800	703	800		
		職員人件費 ②	431	424	1,403	733		
		総事業費 (①+②)	694	1,224	2,106	1,533		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称		
		25年度迄の累積事業費		0				
27年度以降の事業費見込		0						

会計名		民俗芸能啓発事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
10	5					1			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先代がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承する。		主たる内容	指定無形無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O 実施V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・10月30日 催事名：第26回国民文化祭 開催地：京都府亀岡市 出演団体：万燈保存会		・9月17日 催事名：第6回全国奴まつり 開催地：山形県河北町 出演団体：寺横町奴会 ・1月27日 催事名：第1回あいちの伝統文化まつり 開催地：愛知県刈谷市 出演団体：刈谷万燈保存会		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助	
成果 (できたこと)		文化振興課から各団体へ文化財を披露・啓発する催事の募集に関する情報を提供し、希望に応じて申請した。							
課題 (できなかったこと)		補助事業として採択できる大会等が限定的であるため、補助対象となる大会等の内容を精査するなど伝統文化の保存継承に資する無形民俗文化財の披露及び啓発の機会を幅広く検討することが課題となる。							
O 実施	指標名称(単位)			実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
	活動指標	無形民俗文化財の出演団体数(団体)		1	2	0	1	1	
他市との比較検証	平成23年度開催の第26回国民文化祭「民俗芸能の祭典」には愛知県から刈谷市と犬山市の2市が参加。								
C事業コスト	単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳		
	事業費①		1,500	631	0	300	合計	0円	
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	1,500	631	0	300			
	職員人件費②		2,728	2,688	701	733			
	総事業費(①+②)		4,228	3,319	701	1,033			
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
	25年度迄の累積事業費		0						
	27年度以降の事業費見込		0						

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地造成等に伴う緊急発掘調査や試掘調査によって市内の遺跡から出土した埋蔵文化財を保存・活用するための整理作業を行う。	主たる内容	臨時職員により遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、将来報告書を刊行して公開するための作業を行う。 また、年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し、専門家等の資料調査のニーズに対応する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・大西貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物（一部） 2次整理（拓本・実測） ・佐木屋敷南貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・半崎貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物（一部） 2次整理（拓本・実測）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）	
成果 (できたこと)		緊急発掘調査を行った各遺跡について、出土遺物の1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施できたため、市民や専門家の資料調査に対応するための準備ができた。刈谷城跡の出土遺物については、次年度の発掘調査の準備のため、一部の資料（家紋瓦など）を2次整理（拓本・実測）まで行った。							
課題 (できなかったこと)		2次整理まで進めることのできた資料は限られているため、より多くの資料を整理することができるよう計画的に作業を進める必要がある。埋蔵文化財の調査件数・出土遺物量は増加傾向にあり、作業場である資料館分室（城町図書館内）における収蔵スペースの確保が急務になっている。また、整理した成果を市民に公開する展示スペースの確保も必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
活動指標		1次整理作業実施率（％）			100	100	100	100	100
活動指標		2次整理作業実施率（件）			0	1	1	1	2
他市との比較検証		安城市においては埋蔵文化財センターにおいて基本的に1次整理までは年度内に完了している。また、主な出土品については2次整理まで実施し、翌年度にセンター内の展示コーナーで速報展を開催して発掘調査の成果を市民に公開している。							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		3,371	3,258	3,457	3,752	合計	3,457,464 円	
	財源	特定財源	153	18	3	68	賃金	3,189,080 円	
		一般財源	3,218	3,240	3,454	3,684	報償費	16,400 円	
	職員人件費 ②		718	707	701	733	旅費	1,880 円	
	総事業費 (①+②)		4,089	3,965	4,158	4,485	需用費	66,354 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に触れ、学ぶことができる機会を提供するとともに、刈谷の歴史文化を案内するためのガイドボランティアを育成し、文化財の活用と歴史の啓発を図る。	主たる内容	○年3回、史跡めぐりの開催（企画・運営を含む） ○郷土資料館における見学者案内 ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・史跡めぐり案内（年3回：野田・半城土、刈谷城址周辺、鎌倉街道コース） ・小学4年生体験学習における案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・郷土資料館案内補助及びオーブニングイベント補助		・史跡めぐり案内（年3回：高須、高津波・小山、築地・恩田コース） ・小学4年生体験学習における案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・郷土資料館案内補助 ・創立10周年記念行事開催		・史跡めぐり案内（年4回：刈谷城、天誅組、小垣江、泉田コース） ・小学4年生体験学習における案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・「刈谷城築城480年記念展」におけるガイド		・史跡めぐり案内（年3回：元刈谷、一ツ木、重原コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・郷土資料館案内補助 ・ボランティア養成講座の開催	
成果 (できたこと)		事業は以前から、刈谷の文化財や歴史を学ぶ機会として特に中高年に対し広く認知されているが、480年記念事業をきっかけに史跡めぐりには常連だけでなく新規の参加者や小学生の参加もあるなど新たな参加者を開拓できた。ボランティアの会会員自身がコース設定を工夫したり、歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、事務局が相談にのる以外にも個人で積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは各回好評をいただくことができた。							
課題 (できなかったこと)		ボランティアの会会員の高齢化が問題となってきている。年々ボランティアの活動が幅広くなりつつあるため、次年度ガイドボランティア養成講座を実施することにより、新たな会員の開拓と育成を目指す必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）		25	30	50	50	55	
成果指標		史跡めぐり参加者（人）		220	218	280	300	300	
他市との比較検証		にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施（県観光協会HPより）							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		181	179	182	182	合計	181,966 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	18,966 円	
		一般財源	181	179	182	182	委託料	163,000 円	
	職員人件費 ②		1,543	637	561	1,026			
	総事業費 (①+②)		1,724	816	743	1,208			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
	25年度迄の累積事業費		0						
	27年度以降の事業費見込		0						

会計名		文化財保存事業費補助事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	民間所有の市指定文化財や史跡における修繕等に対して補助することにより、文化財の保護・保存を図る。	主たる内容	刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づいて市指定文化財の修繕等を行うため、所有者に対し補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱						
		対象者		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		「小垣江の山車」の修復費の3分の2を補助した		「野田村古文書」が所蔵されている野田史料館のくん蒸費の2分の1を補助した		「水野家廟所」の修繕費の3分の2を補助した		実施予定無し	
成果 (できたこと)		刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、楞嚴寺に所在する市指定文化財「水野家廟所」の修繕費の3分の2（上限1千万円）を補助することにより、墓所の植栽の根が伸び、墓石を押し上げていた状況を改善した。							
課題 (できなかったこと)		特になし。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		水野家廟所改修事業（回）		0	0	1	0	0	
指標									
他市との比較検証		豊田市においては、2事業（保存維持・郷土関係事業、修理事業）を設定し、各事業において補助を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,400	111	10,000	0	合計 10,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 10,000,000 円		
		一般財源	1,400	111	10,000	0			
	職員人件費 ②		0	35	175	0			
	総事業費 (①+②)		1,400	146	10,175	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			中条遺跡発掘調査事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	中条遺跡の発掘調査で出土した遺物および調査記録を整理・保存し報告書を作成することにより、埋蔵文化財の啓発を行う。			主たる内容	有識者による非営利団体である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して、発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成9年度 ~			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年度分実測</li> <li>平成11年度分拓本</li> <li>平成11年度分断面実測</li> <li>平成9年度分遺構図面整理</li> <li>製塩土器分類・カウント</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年度分拓本</li> <li>平成11年度分断面実測</li> <li>平成10年度分遺構図面整理</li> <li>平成9・10年度分遺物観察表作成</li> <li>平成9・10年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10・12年度分拓本</li> <li>平成10年度分断面実測</li> <li>平成11年度分遺構図面整理</li> <li>平成11年度分遺構図面トレス</li> <li>平成9・10年度遺物観察表作成</li> <li>平成11年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度分断面実測</li> <li>平成11年度分遺構図面整理</li> <li>平成11年度分遺構図面トレス</li> <li>平成9・10年度遺物観察表作成</li> <li>平成11・12年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>	
成果 (できたこと)		発掘調査会の調査員と各年度ごとに作業手順を決め、報告書作成に向けた資料化を進めることができた。							
課題 (できなかったこと)		出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。刈谷の古代・中世に関する新資料が多くあるため報告書発行により早期に公開する必要があるが、一部の遺物保管場所が作業場所と離れていることや作業スペースが狭いことから効率が悪くなっている。また、25年度は刈谷城跡の発掘調査や住宅建設等に伴う緊急発掘調査があったことに加え、文化財調査員(直営)が雇用できなかったことにより、作業の指導・チェックがあまりできなかった。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
活動指標		平成9年度発掘調査分整理作業進捗率(%)			80	85	90	100	100
活動指標		全体整理作業進捗率(%)			70	75	80	85	90
他市との比較検証		豊田市においては民間業者に委託して実施した発掘調査の場合、翌年度にその整理作業から報告書作成までを同業者に委託して報告書刊行までの期間を短縮する方針で進めている。安城市においては整理作業の民間委託はせず基本的に直営で行うが、発掘調査から3年のうちに報告書を刊行する方針で進めている。いずれの市も埋蔵文化財を担当する正規職員が3~5名いる。							
C 事業コスト		単位:千円	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳		
	事業費①	5,000	5,000	5,000	5,000	合計	5,000,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,000,000円	
		一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000			
	職員人件費②	718	707	1,052	1,099				
	総事業費(①+②)	5,718	5,707	6,052	6,099				
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地開発等に伴う緊急対応の発掘調査を行い、埋蔵文化財の保護・保存を行う。		主たる内容	埋蔵文化財の専門知識をもつ臨時職員（文化財調査員）を雇用して宅地開発等に伴う緊急対応を行うとともに、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	文化財保護法					
		対象者	開発事業者及び市民		事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		a 窓口照会	701件	a 窓口照会	690件	a 窓口照会	1009件	a 窓口照会	800件
b 試掘調査		18件	b 試掘調査	38件	b 試掘調査	37件	b 試掘調査	30件	
c 工事立会		18件	c 工事立会	19件	c 工事立会	17件	c 工事立会	18件	
d 緊急発掘調査		2件	d 緊急発掘調査	3件	d 緊急発掘調査	2件	d 緊急発掘調査	2件	
e 民間審査機関の建築確認における未対応件数		94件 ・該当 16件 ・近接 78件	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数	101件 ・該当 12件 ・近接 89件	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数	80件 ・該当 22件 ・近接 40件	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数	80件 ・該当 10件 ・近接 70件	
成果 (できたこと)		直営による試掘調査および開発事業者への埋蔵文化財の取扱い説明・指導については、迅速に行うことができた。事前の試掘調査について積極的に事業者へ協力依頼し、遺跡の有無確認・範囲特定を行ったことにより、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合いを捉えることができ、発掘調査あるいは工事立会など適正な対応を行うことができた。緊急発掘調査は事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行うことができた。							
課題 (できなかったこと)		緊急発掘調査が多数生じた場合、年度予算内で対応できない状況が起こりうるため、各調査において相当のコスト削減や調査期間短縮を行っているが、通常の発掘調査に比べて必要最小限の記録になり、ややもすると調査精度の低下につながりかねず、改善の余地がある。民間の審査機関へ建築確認申請されたものは、市建築課へ事後報告してから庁内回覧されるため、文化財への対応ができていないものがあり、事業者や審査機関への手続きの周知を強化する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標	窓口照会件数（件）		701	690	1,009	800	800		
成果指標	対応率（%）= (b+c+d) / (b+c+d+e)		29.2	37.3	41.2	38.5	40.0		
他市との比較検証	安城市のH25年度実績は窓口照会482件、試掘調査40件、工事立会46件、緊急発掘調査15件で、窓口照会件数は刈谷市より少ないが文化財保護法に基づく届出件数は96件と多く、15件もの緊急発掘調査に対応している。年間約880万円という事業費（国庫補助含む、人件費除く）を執行する調査体制に加え、ホームページや広報誌への掲載、パンフレット配布等による埋蔵文化財の取扱いに対する周知が刈谷市より進んでいる。								
C 事業コスト	単位：千円	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳			
	事業費 ①	3,274	3,070	748	3,476	合計	748,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	748,000 円	
		一般財源	3,274	3,070	748	3,476			
	職員人件費 ②	1,436	354	701	733				
	総事業費 (①+②)	4,710	3,424	1,449	4,209				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		25年度特定財源名称					
	25年度迄の累積事業費	0							
	27年度以降の事業費見込	0							

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	6							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化				主たる内容	○国の登録文化財建造物である郷土資料館の施設管理に要する経費 ○月3回の子ども向けイベントの実施等	
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財建造物である「刈谷市郷土資料館」の適切な施設管理を図るため。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度実施</li> <li>常設展示リニューアル</li> <li>月4回イベント実施</li> <li>はた織り体験の土日祝日の常時実施</li> <li>はた織り体験講座、親子はた織り教室実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度実施</li> <li>月3回イベント実施</li> <li>はた織り体験の土日祝日の常時実施</li> <li>はた織り体験講座、親子はた織り教室実施</li> <li>アウトリーチ事業の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度実施</li> <li>月3回イベント実施</li> <li>はた織り体験の土日祝日の常時実施</li> <li>はた織り体験講座、親子はた織り教室実施</li> <li>480年記念事業と連携したイベントの実施に関する補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度実施</li> <li>月3回イベント実施</li> <li>はた織り体験の土日祝日の常時実施</li> <li>はた織り体験講座、親子はた織り教室実施</li> <li>480年記念事業を継承したイベントの実施に関する補助</li> </ul>	
成果(できたこと)		はた織り体験については、三河地域の伝統文化を継承するため、ホームページ及び他のイベントを通じての広報活動を行い、参加者増に繋げることができた。 480年記念事業と連携したイベントを実施して子ども達に郷土の歴史啓発と480年記念事業に対する理解を深めてもらう機会を提供するとともに、記念事業で郷土の歴史に興味をもった人を来館に結びつけることができた。							
課題(できなかったこと)		今年度は刈谷城築城480年記念事業と連携したイベントを実施し、子ども達に歴史とふれあう機会を提供することができたが、今後も子ども達に郷土の歴史を啓発するため、新規に子ども達の興味を引くイベントの企画が必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		総入館者数(人)		13,462	11,831	15,716	14,000	14,500	
成果指標		はた織り等イベント参加者数(人)		1,111	1,327	1,597	1,400	1,400	
他市との比較検証		郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館とその内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北名古屋歴史民俗資料館(昭和30～40年代当時の食卓や駄菓子屋の再現展示。昭和期の企画展を行う)</li> <li>・岡崎市岡崎むかし館(小学校の学習と連携した展示やイベント、博学連携を実施している)</li> <li>・東郷町いこまい館(昭和30年代の教室を再現し、その教室を利用した高齢者への回想法を実施する)</li> </ul>							
C 事業コスト		単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳	
	事業費①		17,053	16,961	16,381	18,537	合計	16,380,851 円	
	財源	特定財源	0	0	4	3	役務費	80,045 円	
		一般財源	17,053	16,961	16,377	18,534	委託料	16,300,806 円	
	職員人件費②		1,802	566	912	879			
	総事業費(①+②)		18,855	17,527	17,293	19,416			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		コピー代実費徴収金					
27年度以降の事業費見込		0							